



第2次大戦に活躍した日本の高速偵察機 三菱 100式司偵

1:72スケール
02016-1 X-207

解 説

第二次大戦中日本が使用したピストンエンジン装備の航空機の中で、97式司令部偵察機に代わる新型として開発され、「新司偵」という愛称で呼ばれた三菱100式司令部偵察機(キ46)は、高速性に優れていて、連合軍の戦闘機スピットファイア、ハリケーン、コルセアとても追いつくことができなかった。

最初の量産型であるキ46-1が初飛行したのは1939年11月で、850HPエンジンを2基装備して、1940年春のテスト飛行では最大速度540km/hを記録している。

エンジンを1,050HPのものに改装したものがキ46-IIで、テストでは640km/hを記録、同時に日本で初めて600km/hをこえたレシプロ機となった。このII型が最も多く生産された。

キ46-IIは日華事変の末期から、太平洋戦争初期にかけて、アッツ島をはじめ、シンガポール、ジャワ、北オーストラリア、インドなどの広い戦域で、陸軍の長距離偵察飛行に活躍した。

また、高速偵察機のなかった海軍でも、若干数を陸軍から譲り受けた機体を使用して、ソロモン戦線や本土の一部で、陸上偵察に使用した。

II型は全幅14.70m、全長11.0m、全高3.88m、乗員は2名で、エンジンは1102を2基装備、最高速度は630km/hで、航続距離は4,000kmであった。

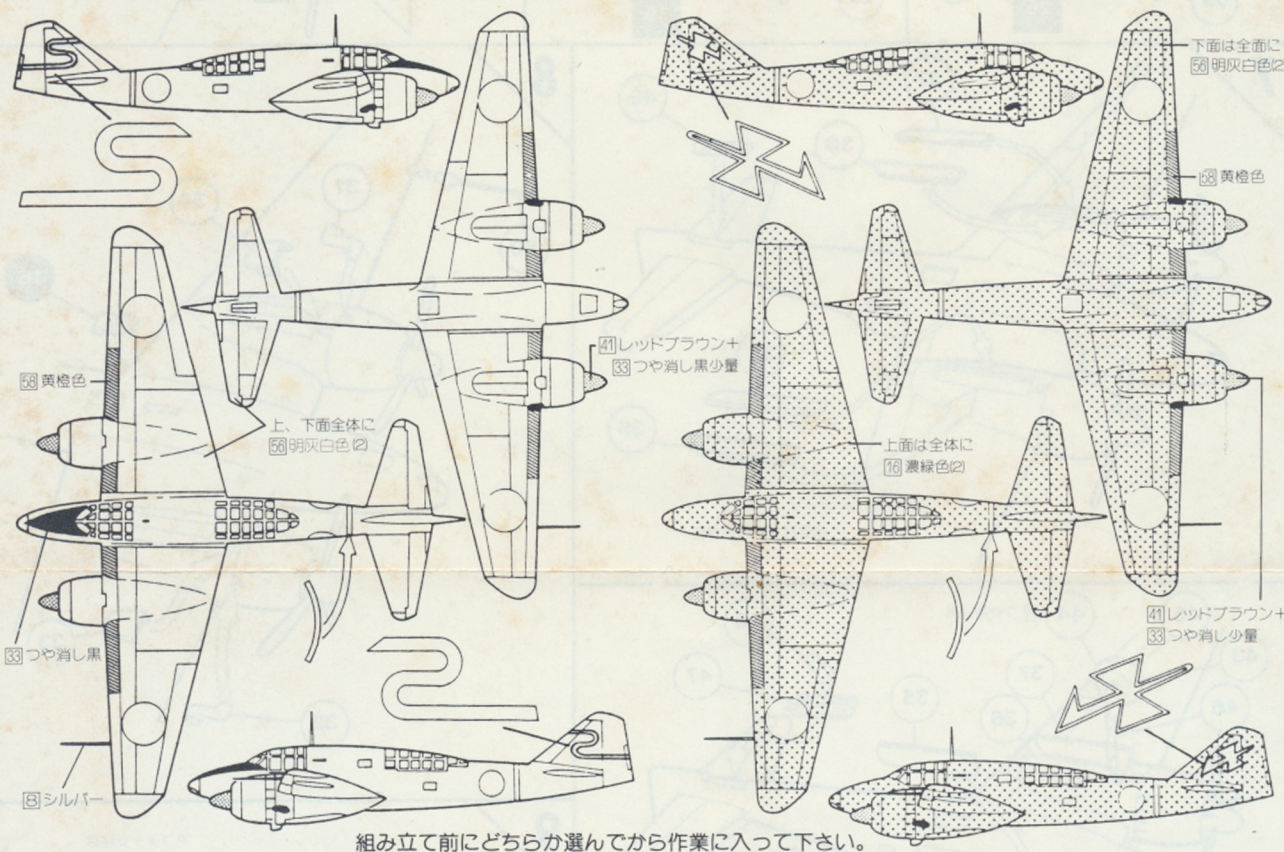
偵察用カメラは、100式大航空写真機と96式小航空写真機を装備していた。

生産機数はII型が一番多く4,093機が造られた。

飛行第10戦隊所属機

100式司偵の塗装とマーキング

飛行第81戦隊第1中隊所属機



組み立て前にどちらか選んでから作業に入ってください。

組立図の記号

- 接着する部品です。
- 透明部品(クリアー)です。
- 接着しない部品、又は接着しない箇所です。

このキットに必要な Mr.カラー

- | | | |
|-----------|------------|--------|
| 8 シルバー | 41 レッドブラウン | 58 黄橙色 |
| 16 濃緑色(2) | 56 明灰白色(2) | |
| 33 つや消し黒 | 57 青竹色 | |

組立作業には……●Mr.セメント●Mr.セメントS●強力瞬間接着剤Mr.ジャスト●Mr.リターダー●Mr.トップコート●Mr.パテ●Mr.ラビングコンパウンド●マスキングソル●ニッパー●ナイフ●ピンセット●セロハンテープなど準備しておくとう便利です。

お願い このキットのポリ袋は幼児が不用意にかぶったりしないよう始末して下さい。

